

床暖房リモコン 家庭用

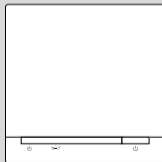
取扱説明書(保証書付)

型番

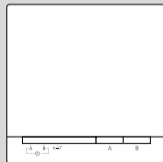
142-N141/N143/N145型 (1系統)

142-N142/N144/N146型 (1系統)

142-N241/N242/N243型 (2系統)



(1系統)



(2系統)



SHC80BV

はじめに

この取扱説明書の見かた	2
セーブモードを搭載しています	3
必ずお守りください(安全上の注意)	4
各部のなまえとはたらき(スイッチなど)	8
各部のなまえとはたらき(画面)	10
時計を合わせる	12

使いかた

床暖房をする	14
温度を調節する	16
タイマー運転をする<タイマー時刻合わせ>	18
タイマー運転をする<タイマー入/切>	24
リモコンの音を消す(鳴らす)	26
操作ロックをする	28
あたたためモード(制御方法)を切り替える	30
セーブモードの設定を変更する	32

必要なとき

日常のお手入れのしかた	34
故障・異常かな?と思ったら	35
アフターサービスについて	40

保証書

裏表紙

この取扱説明書の見かた

このたびは大阪ガスの床暖房リモコンをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があれば販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。
- 保証書の内容もよくお読みいただき、保証期間・保証内容を確認してください。
- この取扱説明書(保証書付)は、いつでもご覧になれるところに保管してください。
- この製品は家庭用ですので、業務用のような使いかたをされますと、著しく寿命が縮まります。

リモコン型番をご確認ください

- リモコンのふたの裏に記載されているリモコン型番をご確認のうえ、取扱説明書をお読みください。
(スイッチ・表示・機能などが異なります)

型番	142-N141型	142-N143型	142-N145型
<1系統>	1か所の床暖房をコントロールします。 室温センサー付：室温を設定温度に保ちます。(P17)		
型番	142-N142型	142-N144型	142-N146型
<1系統>	1か所の床暖房をコントロールします。		
型番	142-N241型	142-N242型	142-N243型
<2系統>	A・Bの2か所の床暖房をコントロールします。		

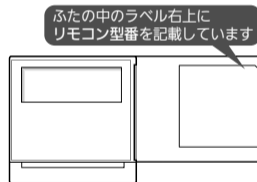
文中の(P○)の数字は参照ページを表します

説明中のリモコン表示画面は一例です

- 実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

セーブモードを搭載しています

- セーブモードでは、エアコンと床暖房を併用することを想定し、床暖房の能力を抑えて運転します。
部屋の空気はエアコンで、床面は床暖房であたためることで、省エネを目指しながら部屋全体をあたためることができます。
- 春先や秋口などの比較的あたたかい時期は、床暖房のみでも快適にお使いいただけます。
- 初期設定(工場出荷時)では、セーブモード「入」に設定されています。





お知らせ

- エアコンとは連動していません。また、床暖房をセーブモードで運転するとき、エアコンに特別な機能は必要ありません。
- 省エネを目指すために、エアコンの暖房温度設定はひかえめにすることをおすすめします。
- 床暖房の能力を抑えて運転するため、セーブモード「切」時と比べて、床面の温度が低く感じる場合があります。


必ずお守りください(安全上の注意)


★床暖房、床暖房リモコンに関する内容のみ記載しています。熱源機の取扱説明書および床仕上げ材の取扱説明書等がある場合は併せてご覧ください。


お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。


 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定されます。	 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定されます。	お願い 安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。
---	--	--


警告

 リモコンの設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、販売店または、もよりの大阪ガスに依頼する
必ず守る
安全に使用していただくため。

 お客さまご自身では絶対に分解・修理・改造はおこなわない
分解禁止
思わぬ事故や故障の原因になります。


 床暖房中、床面に長時間座ったり寝そべったりしない
禁止
低温やけどのおそれがあります。比較的低い温度でも、皮膚障害をおこす危険があります。特に次のような方が使用される場合はまわりの方が注意してあげることが必要です。
●乳幼児・お年寄り・病人など自分の意思で体を動かせない方
●疲労の激しいときやお酒・睡眠薬を飲まれた方
●皮膚や皮膚感覚の弱い方


 スプレー缶・カセットこんろ用ボンベ・ライターなどを、床暖房の上に置かない
禁止
熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発する原因になります。


 地震、火災などの緊急の場合は、運転スイッチを「切」にし、熱源機の取扱説明書に従って熱源機を停止する
必ず守る
異常音・水漏れ・臭気など異常を感じた場合は、ただちに使用をやめて運転を停止する
「故障・異常かな?と思ったら」(P35~39)に従い処置をする
上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する


スマートフォン、IT機器を使ってリモコンのスイッチを操作する外付け装置※は安全性を確認できないため使用しない
※スイッチ付近に設置し、インターネット通信等を介して、スイッチを操作できる装置


注意


 床暖房は、電気カーペットやこたつなどと併用しない
禁止
床暖房の上に、カーペットなどを敷かない
性能が発揮できなかつたり、熱がこもって床仕上げ材のひび割れ・そり・すき間・変形・変色の原因になります。


 床に突起物(くぎ、画びょう、きり、裁縫針、ダニ防虫剤の注射針、はさみなど)を落としたり、刺したり、くぎ打ちなどをしたり、衝撃を与えない
禁止
床暖房が破損し、水漏れの原因になります。


 床暖房の上に、調度品・家具などを直接置かない
禁止
家具などに熱がこもって、ひずみなどが生じる原因になります。
家具などを置く場合は、床表面と家具などの間に空間を設けるようにし、熱がこもらないように配慮してください。


 床暖房の上で、車椅子やキャスター付きの椅子・家具を使用しない
禁止
床仕上げ材の傷・へこみ・はがれの原因になります。


 暖房以外の用途には使用しない
禁止
特殊な用途(衣類の乾燥・動物の飼育・植物の栽培・食品の保存など)には使用しないでください。
思わぬ事故を予防するため。


 床暖房の上に、テレビなどのリモコンを長時間置かない
禁止
リモコンの故障の原因になります。

 閉めきった部屋で長時間使用しない
禁止
床暖房設置後しばらくの間や、閉めきった部屋で長時間使用すると、ごくまれに体調が悪くなる場合があります。窓を開けるなどして、定期的に換気をしてください。
それでも改善されない場合は、販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

 ピアノなどの重量物にはパッドなどの緩衝材を敷き、一か所に荷重がかからないように設置する
必ず守る
床暖房が破損し、水漏れの原因になります。

 床暖房の上に水など(水・薬品・しょうゆ・ベットの排泄物など)がこぼれたら、すみやかに乾いた雑巾でふき取る
必ず守る
常時、水の飛び散る台所や洗面所周辺は、濡れたまま長時間放置しない
水分がついたままにしておくと、床仕上げ材・床暖房パネルの変色・はがれ・劣化など品質を損なう原因になります。

 重量物を移動させるときは、引きずらずに持ち上げて移動させる
必ず守る
床仕上げ材の傷・へこみ・はがれの原因になります。
椅子の脚など床と接触する部分には、フェルトなどを貼って保護してください。

 床下の防霉・防蟻処理時、床暖房や配管などに処理剤が付着しないよう注意する
必ず守る
床暖房が破損し、水漏れの原因になります。

(つづく)

必ずお守りください(安全上の注意)(つづき)

- !** 床仕上げ材のお手入れは、床仕上げ材メーカーの取り扱い方法に従う
必ず守る 床仕上げ材の貼り替えは、床仕上げ材メーカーの指定工法で施工する
詳しくは床仕上げ材メーカーへお問い合わせください。

ラグマットなどの部分的な敷物を敷設し、長期間同じ場所に敷いたままで床暖房運転をした場合、性能が発揮できなったり、熱がこもって床仕上げ材のひび割れ・そり・すき間・変形・変色したりする原因になります

- ⊘** 【室温センサー付の場合】
リモコンに直射日光や暖房機器の温風などを当てない
室温センサーをふさいだり、室温センサーの近くに障害物を置かない
室温を正確に検知できなくなります。

- ⊘** ぬれた手でリモコンを操作しない
感電の原因になります。
禁止

- ⊘** リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や研磨剤入りの洗剤、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤・メラミンスポンジを使用しない
変色・変形・傷・割れなどの原因になります。
禁止

- ⊘** リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない
炊飯器、電気ポットなどに注意。
禁止 故障の原因になります。

- ⊘** 表示画面を強く押さない
液晶が破損する場合があります。
禁止

お願い

リモコンは0℃～40℃の室温で使用する
故障の原因になります。

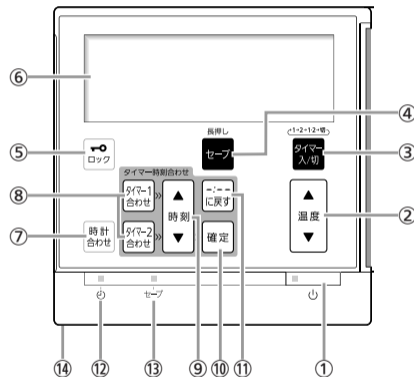
リモコンを子供がいたずらしないよう注意する

停電すると、運転が停止します
停電後や、長期不在などで熱源機の電源プラグを抜いたあとは、以下の処置をしてください
時計表示が「-:--」になるので、時計を合わせ直してください。
(P12)
操作ロックは解除されますので、再度設定してください。
温度設定・タイマー時刻設定は、前回の設定を記憶しています。

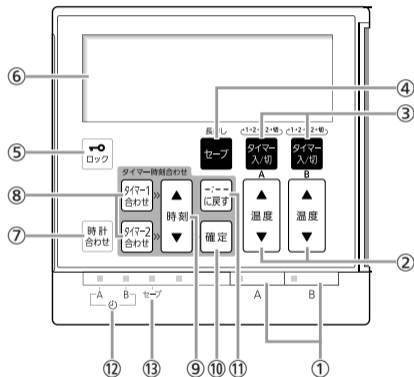
memo

各部のなまえとはたらき(スイッチなど)

●1系統 142-N141,N142,N143,N144,N145,N146型



●2系統 142-N241,N242,N243型



※この取扱説明書では、主に2系統のリモコンのイラスト・表示で説明しています。

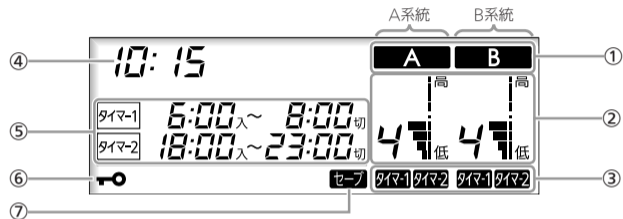
- ① 運転スイッチ・ランプ(緑)
床暖房の運転入・切に。(P14)
- ② 温度調節スイッチ
床暖房の温度調節に。(P16)
- ③ タイマー入/切スイッチ
床暖房のタイマー入・切に。(P24)
- ④ セーブスイッチ
セーブモード入・切に。(P32)
- ⑤ ロックスイッチ
操作ロックをするときに。(P28)
- ⑥ 表示画面
(P10)

- ⑦ 時計合わせスイッチ
時計合わせに。(P12)
- ⑧ タイマー合わせスイッチ
タイマー時刻合わせに。(P18)
- ⑨ 時刻スイッチ
 - 時計合わせに。(P12)
 - タイマー時刻合わせに。(P18)
 - リモコンの音を消す(鳴らす)ときに。(P26)
- ⑩ 確定スイッチ
 - 時計を確定するときに。(P12)
 - タイマー時刻設定を確定するときに。(P18)

- ⑪ -:--に戻すスイッチ
タイマー時刻を「-:--」に設定するときに。(P19)
- ⑫ タイマーランプ(オレンジ)
タイマー「入」のときに点灯します。(P25)
- ⑬ セーブランプ(緑)
セーブモード「入」のときに点灯します。(P33)
- ⑭ 室温センサー
[142-N141,N143,N145型のみ]
スリットの部分で室温を測ります。(P17)

各部のなまえとはたらき(画面)

●2系統(142-N241,N242,N243型)の表示例



●1系統(142-N141,N142,N143,N144,N145,N146型)の表示例

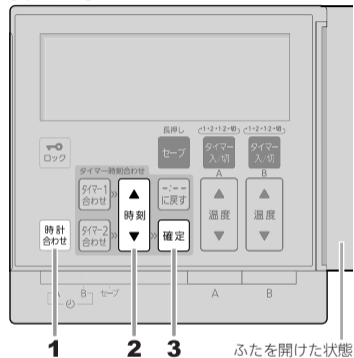


-
- ① **運転系統表示**
[2系統のリモコンのみ]
運転中の床暖房を表示します。(P15)
-
- ② **設定温度表示**
設定温度を1~9段階で表示します。(P17)
-
- ③ **タイマー表示**
設定しているタイマー(1または2)を表示します。(P25)
-
- ④ **時計表示**
現在時刻を表示します。(P13)
-
- 故障表示**
不具合が生じたとき、故障表示をします。(P35)
-

-
- ⑤ **タイマー時刻表示**
タイマーの入時刻・切時刻を表示します。(P19)
-
- ⑥ **操作ロックマーク**
操作ロック中に表示します。(P29)
-
- ⑦ **セーブ表示**
セーブモード「入」時に表示します。(P33)
-

時計を合わせる

[例：2系統]



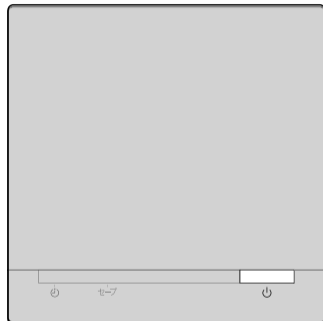
お知らせ

- 停電後または熱源機の電源プラグを抜いたあと、再通電して時計を表示させると「-:--」になりますので、時計を合わせ直してください。
- 時計は誤差が生じるため、目安としてお使いください。

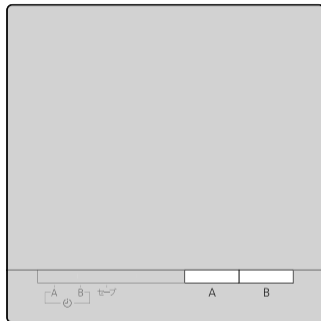
操作	操作後の画面	お知らせ
1 ふたの中の 時計合わせ を押す	<p>(2系統の表示例)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転スイッチの「入」「切」に関係なく、設定できます。
2 時刻 で時計を合わせる	<p>(例：午前10時15分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 短く押すと1分ずつ、長く押すと10分ずつ変わります。
3 確定 を押す 【設定完了】	<p>(例：午前10時15分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 約60秒そのままにしても設定完了します。


床暖房をする

[1系統]



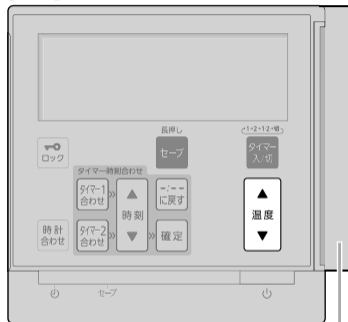
[2系統]



操作	操作後の画面	お知らせ
<p>1 [1系統の場合] 運転スイッチを「入」にする</p> <p>[2系統の場合] 床暖房をしたいほうの 運転スイッチ(AまたはB)を 「入」にする</p>	<p>(1系統は運転系統表示は点灯しません)</p>  <p>(2系統の表示例：床暖房A, Bを「入」)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転ランプ点灯。 ● 熱源機が自動的に運転を開始します。
<p>● 床暖房を停止したいとき</p> <p>[1系統の場合] 運転スイッチを「切」にする</p> <p>[2系統の場合] 停止したいほうの 運転スイッチ(AまたはB)を 「切」にする</p>	 <p>(2系統の表示例：床暖房A, Bを「切」)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転ランプ消灯。 ● 熱源機が自動的に運転を停止します。

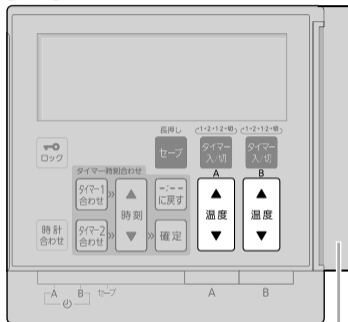
温度を調節する

[1系統]



ふたを開けた状態

[2系統]



ふたを開けた状態

操作	操作後の画面	お知らせ
<p>1 [1系統の場合] ▲ 温度 ▼ で調節する</p> <p>[2系統の場合] 調節したいほうの ▲ 温度 ▼ で調節する</p>	<p>(1系統の表示例：温度を3に設定)</p> <p>(2系統の表示例：床暖房Aの温度を3に設定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転スイッチ「入」「切」に関係なく、設定できます。 ● セーブモード「入」時は1~4、セーブモード「切」時は1~9で設定できます。 ● 初期設定(工場出荷時)は、セーブモード「入」で温度は4です。 ● 使いはじめや温度設定を変更したときは、設定温度になるまでに時間がかかります。 ● セーブモード「入」時に、温度を5以上に調節しようとすると、セーブランプが約3秒間点滅し、「ピピピ」と鳴って設定できないことをお知らせします。操作音を消す設定にしている場合は鳴りません。

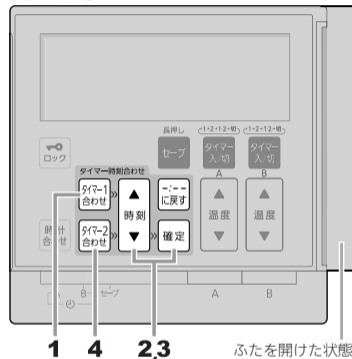
温度調節について

● 室温センサー付の場合 (142-N141, N143, N145型)
セーブモード「切」時に、室温を設定温度に保ちます。表示「4」の目安温度は約20℃です。
(目安のため、建物や外気温などの条件により、実際の室温とは異なることがあります)

● 室温センサーなしの場合 (142-N142, N144, N146, N241, N242, N243型)
体感に合わせて、お好みで調節してください。

タイマー運転をする<タイマー時刻合わせ>

[例：2系統]



- P18～20の方法でタイマー時刻合わせをし、P24の方法でタイマー「入」にしておくと、運転スイッチ「入」「切」に関係なく、自動的に床暖房を開始または停止します。
- 1日のうち **タイマー-1** **タイマー-2** の2パターンのタイマー設定ができます。
- 入時刻・切時刻のどちらかのみ設定すれば、入タイマー・切タイマーとして動作します。(P23)
- 2系統の場合、**タイマー-1** **タイマー-2** で設定した時刻は、床暖房A・B共通の時刻となります。







お知らせ


- タイマー「入」設定中は、タイマー時刻の変更はできません。(ピピピと鳴り、タイマー表示が3回点滅してお知らせします)一度タイマー「切」にしてから変更してください。

- 自動で床暖房をする時間帯を、**タイマー-1** に6:00～8:00、**タイマー-2** に18:00～23:00を設定する例で説明します

操作	操作後の画面	お知らせ
準備 <ul style="list-style-type: none"> ● 現在の時刻が正しいかどうか確認する ● タイマーが「切」であることを確認する 		<ul style="list-style-type: none"> ● P12「時計を合わせる」
1 ふたの中の タイマー-1 を押す (入時刻設定)	<p>(表示例)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転スイッチの「入」「切」に関係なく、設定できます。 ● 前回設定した「入」時刻を表示します。
2 <ul style="list-style-type: none"> ▲ で入時刻を設定し、 ▼ 確定 を押す 前回の設定のままでよければ、「入」時刻設定せず、 <ul style="list-style-type: none"> 確定 を押す 【入時刻設定完了】 (切時刻設定へ)	<p>(例：入時刻 午前6時00分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 短く押しごとに10分ずつ、長く押しすと1時間ずつ変わります。 ● 「入」時刻を設定しない場合(P23)は、「-:--」に設定してください。(「-:--」を押す) ● 「-:--」は23:50と0:00の間にあります ● 約60秒そのままにすると、タイマー時刻合わせが完了します。

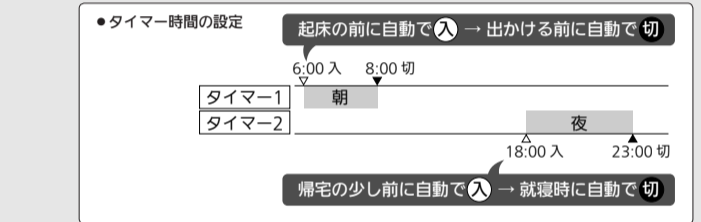
タイマー運転をする<タイマー時刻合わせ>(つづき)

操作	操作後の画面	お知らせ
<p>3 ▲時刻▼ で切時刻を設定し、 確定 を押す</p> <p>【切時刻設定完了】</p> <p>タイマー1 時刻合わせ完了</p> <p>前回の設定のままであれば、「切」時刻設定せず、 確定 を押す</p>	<p>約30秒間点滅→消灯</p>  <p>(例：切時刻 午前8時00分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●前回設定した「切」時刻を表示します。 ●「切」時刻を設定しない場合(P23)は、「-:--」に設定してください。( を押す。 「-:--」は23:50と0:00の間にあります) ●約60秒そのままにしても、タイマー時刻合わせが完了します。 ●切時刻設定完了時に時計合わせをしていない場合は、時計表示が点滅しますので、そのまま時刻スイッチで時計合わせをしてください。
<p>4 タイマー2 の設定も、同様に ふたの中の  を押して 操作1~3の手順で 設定する</p>	 <p>(例：タイマー1,2とも時刻設定完了)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●タイマー時刻表示は、   の時刻を設定すると表示します。

タイマー時刻合わせ完了後、 を押してタイマー「入」にしてください

タイマーの活用例① 毎日、朝と夜の決まった時間帯に床暖房をする

例) タイマー1 に朝の時間帯を、タイマー2 に夜の時間帯をそれぞれ設定します。



A系統がリビングに、B系統がダイニングに設定されている場合

- タイマー入/切スイッチの設定状態
- 朝(タイマー1)はA(リビング)のみ「入」にする
- 夜(タイマー2)はA(リビング)もB(ダイニング)も「入」にする

タイマー1とタイマー2の両方を「入」にすると、どちらの時間帯も床暖房をします。

タイマー運転をする<タイマー時刻合わせ>(つづき)

タイマーの活用例② 平日と休日を使い分ける

例) タイマー1 に平日の設定を、タイマー2 に休日の設定をそれぞれ振り分けます。

●タイマー時間の設定



●タイマー入/切スイッチの設定状態

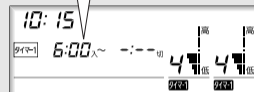
平日はタイマー1を「入」にし、休日はタイマー2を「入」にする(画面は平日の例)



例のように、タイマー1とタイマー2の時間帯が重なっている場合や重なっている場合は、タイマー1・タイマー2の両方を「入」にすれば、タイマー1とタイマー2が連続して運転します。

タイマーの活用例③ 入タイマーとして使う

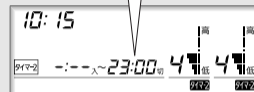
入時刻のみ設定



タイマーの活用例④ 切タイマーとして使う

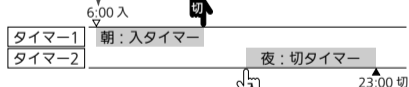
★切り忘れ防止に

切時刻のみ設定



入タイマー・切タイマーを組み合わせる(タイマー1・タイマー2それぞれに「入タイマー」「切タイマー」を設定)

起床の前に自動で入 → 出かけるとき手で切

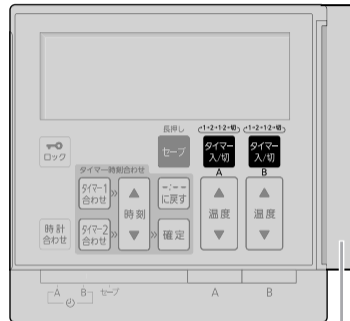


帰宅時に手で入 → 就寝時に自動で切

ひとつの系統にタイマー1・タイマー2の両方を「入」にした場合、タイマー1の入時刻に自動で運転「入」になったあと、手で運転スイッチを「切」にしなければ、そのままタイマー2の切時刻に運転「切」になります。

タイマー運転をする<タイマー入/切>

[例：2系統]



ふたを開けた状態

- P18～20の方法でタイマー時刻合わせをしてから、タイマー「入」にしてください。
- 2系統の場合は、床暖房A・床暖房Bそれぞれで設定できます。

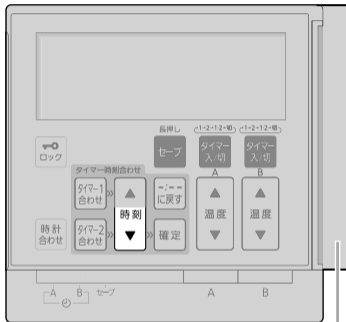
お知らせ

- タイマー「入」設定中は、タイマー時刻の変更はできません。(ピピピと鳴り、タイマー表示が3回点滅してお知らせします)一度タイマー「切」にしてから変更してください。

操作	操作後の画面	お知らせ
準備 <ul style="list-style-type: none"> ●現在の時刻が正しいかどうか確認する ●タイマー時刻合わせをしていることを確認する 		<ul style="list-style-type: none"> ●P12「時計を合わせる」 ●P18「タイマー運転をする<タイマー時刻合わせ>」
1 ふたの中の タイマー入/切 を押す 【タイマー「入」設定完了】 ※タイマー「切」設定は、この方法でタイマー表示を消灯させてください タイマー1と2の両方に時刻を設定している場合 タイマー入/切スイッチを押すごとに、以下の順で切り替わります。 → タイマー1 → タイマー2 → タイマー1 → タイマー2 → 消灯 (切)	<p>(例：床暖房Aにタイマー2のみ、床暖房Bにタイマー1,2を設定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●タイマー「入」設定すると、タイマーランプ点灯。 点灯 (左記の表示時の例)
【タイマー設定時刻になると】 タイマー「入」時刻になると、運転を開始します タイマー「切」時刻になると、運転を停止します	<p>(例：床暖房Bがタイマー1で運転中)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●タイマー「入」時刻になると、運転ランプと運転系統表示(2系統のみ)点灯。 タイマー「切」時刻になると、運転ランプと運転系統表示(2系統のみ)消灯。

リモコンの音を消す(鳴らす)

[例：2系統]




ふたを開けた状態

- スイッチの操作音や各お知らせ音を、鳴らないようにしたり、鳴るようにしたりできます。
(お買い上げ時は、鳴るように設定しています)

リモコンの音の種類

音	こんなときに音が鳴ります
ピッ	スイッチ操作
ピピッ	運転「入」
ピピピ	操作を受け付けられないとき
ピピピピピ	操作ロックできないとき 操作ロック中に運転「入」にしたとき
ピーピーピー	故障表示が出たとき

操作

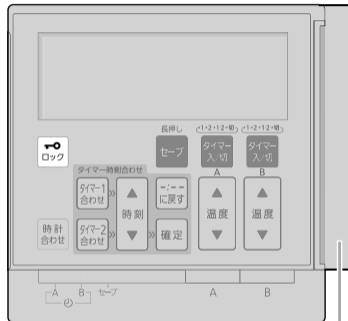
- 1 ふたの中の時刻スイッチの  を、約5秒長押しする

お知らせ

- 運転スイッチ「入」「切」に関係なく、設定できます。
- 操作音を鳴らす設定にしたときは、「ピッ」と音がします。操作音を消す設定にしたときは、音はしません。




操作ロックをする

[例：2系統]



ふたを開けた状態

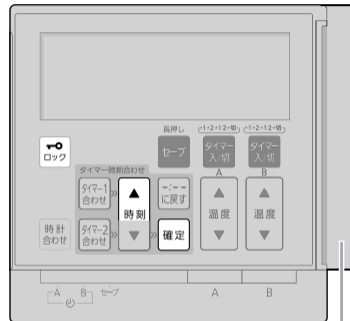
- お子さまがさわったり、誤ってスイッチを押したりしても、作動しないようにスイッチをロックできます。

操作	操作後の画面	お知らせ
<p>1 タイマーと運転スイッチが「切」になっていることを確認する</p>		<ul style="list-style-type: none"> ● 運転スイッチ「入」中・タイマー「入」中は、操作ロックできません。(ピピピピと鳴ってお知らせします。操作音を消す設定にしている場合は鳴りません)
<p>2  を約3秒長押しする (ピッと鳴るまで)</p>	 <p>点灯</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 操作ロックをすると、画面には操作ロックマークのみを表示します。 ● 操作音を消す設定にしている場合は鳴りません。
<p>● 操作ロックを解除したいとき</p>	<p> を約3秒長押しする (ピッと鳴るまで)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 操作ロック前の画面を表示します。 ● 操作音を消す設定にしている場合は鳴りません。
	 <p>消灯 (表示例)</p>	

使
い
か
た




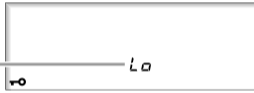

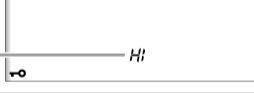



あたためモード(制御方法)を切り替える

[例：2系統]



ふたを開けた状態

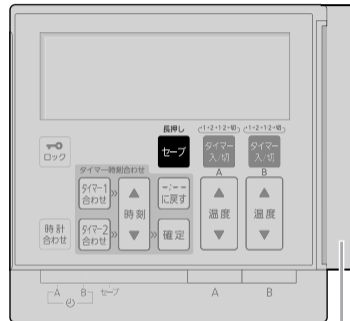
- この床暖房リモコンは2つのあたためモード(制御方法)を搭載しており、初期設定(工場出荷時)では、近年の住宅性能に合わせたあたためモード(制御方法)を採用しております。床暖房リモコンのみを買い替えられた方や、異なる暖房感を得られたい方は、あたためモード(制御方法)の変更が可能です。

操作	操作後の画面	お知らせ
1 タイマーと運転スイッチが「切」になっていることを確認し、  を約3秒長押しする (ピッと鳴るまで)		●操作音を消す設定にしている場合は鳴りません。
2 時刻スイッチの  を約3秒長押しする (ピッと鳴るまで)		●あたためモード(制御方法)の初期設定(工場出荷時)は「Lo」です。
3 時刻スイッチの  を押して変更する		●「Lo」に戻す場合は、再度  時刻 を押してください。 ●約60秒そのままにすると、操作ロックの画面に戻ります。
4  を押す 【設定完了】		●確定スイッチを押さないと設定完了しません。 ●設定完了後は、P29「操作ロックを解除したいとき」の手順で操作ロックを解除し、P16の手順で温度を調節し直してください。

使
い
か
た



セーブモードの設定を変更する

[例：2系統]



ふたを開けた状態

- 初期設定(工場出荷時)はセーブモード「入」です。
- セーブモードでは、エアコンと床暖房を併用することを想定し、床暖房の能力を抑えて運転します。部屋の空気はエアコンで、床面は床暖房であたためることで、省エネを目指しながら部屋全体をあたためることができます。
- 春先や秋口などの比較的あたたかい時期は、床暖房のみでも快適にお使いいただけます。

操作	操作後の画面	お知らせ
<p>1 ふたの中の セーブ を約3秒長押しする (ピッと鳴るまで) セーブモード「入」「切」を変更できます</p>	<p>セーブモード「入」時：点灯 セーブモード「切」時：消灯</p>  <p>(表示例)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●運転スイッチ「入」「切」に関係なく、設定できます。 ●床暖房A・Bとも設定されます。(別々に設定できません) ●セーブモード「入」時、セーブランプ点灯。  <p>(運転スイッチ「入」時の例)</p>

使
い
か
た

日常のお手入れのしかた

- リモコンの表面が汚れたときは、やわらかい布を水またはぬるま湯にひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってください。汚れが取れにくいときは、やわらかい布に薄めた台所用中性洗剤を少量つけて、ふき取ってください。
- 乾いた布でふいた場合は、表示画面(液晶部)が乱れることがあります。故障ではありません。しばらく放置すると元の状態に戻ります。

⚠ 注意	⊘ ぬれた手でリモコンを操作しない 感電の原因になります。
	⊘ リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や研磨剤入りの洗剤、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤、メラミンスポンジを使用しない 変色・変形・傷・割れなどの原因になります。
	⊘ リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない 炊飯器、電気ポットなどに注意。故障の原因になります。

故障・異常かな?と思ったら

★床暖房リモコン、床暖房に関する内容のみ記載しています。熱源機の取扱説明書および床仕上げ材の取扱説明書等がある場合は併せてご覧ください。

床暖房リモコン

こんなときは	こんなことが考えられます	処置
運転ランプが点滅している 3桁の数字(故障表示)が点滅している	【室温センサー付(142-N141,N143,N145型)の場合】 運転スイッチ「入」時、リモコンの時計表示部に「314」を表示している場合は、床暖房リモコンに不具合が発生しています。 故障表示「314」以外の場合は、熱源機に不具合が発生していません。	販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。 該当する故障表示の処置をしてください。 (熱源機の取扱説明書をご確認ください)
時計表示が「-:--」になっている	停電後または熱源機の電源プラグを抜いたあと、再通电すると、時計が「-:--」になります。	時計を合わせ直してください。(P12)
タイマー「入」にできない	時計合わせ、またはタイマー時刻合わせをしていない。	時計合わせをしてください。(P12) タイマー時刻合わせをしてください。(P18)
リモコンのスイッチや表面のビニールが破れてきた、はがれてきた、浮き上がって空気が入っている	リモコンの表面には、出荷時に保護シート(表面に傷などがつかないようにするためのもの)が貼ってあります。この保護シートは、はがさずに使用してもはがして使用してもかまいません。	気になる場合は保護シートをはがしてください。

(つづく)

故障・異常かな?と思ったら(つづき)

床暖房リモコン(つづき)		
こんなときは	こんなことが考えられます	処置
リモコンが動かなくなった	おさまのいたずらや誤った操作を防ぐため、操作ロックがかかっています。(P28) 操作ロック中はすべてのスイッチが使えません。	操作ロックを解除してください。(P29)
リモコンの音が鳴らない	音を消す設定になっているためです。	音を鳴らす設定にしてください。(P26)
表示画面が点灯しない	停電している。	停電の復帰を待ってください。
	熱源機の電源プラグが抜けている。	電源プラグの確認をしてください。
画面に「セーブ」が表示されている	セーブモードが「入」の場合、画面に「セーブ」が表示されます。 ※初期設定(工場出荷時)はセーブモード「入」です。	異常ではありません。 詳しくはP32をご覧ください。

床暖房		
こんなときは	こんなことが考えられます	処置
床暖房で床面のあたたかさが場所によって異なる	温水配管内に温水を循環させて床をあたためるしくみになっています。温水配管の通っているところと通っていないところでは、床面の温度に多少の差が生じます。	異常ではありません。
床暖房の温度変更をしないのに床面の温度が下がった	床暖房しはじめは、早く床面をあたためるために高温の温水を流し、ある程度時間がたつと、温水を一定の温度に下げます。 【室温センサー付(142-N141,N143,N145型)の場合】 リモコンの設定温度より、室温が高くなっている。	異常ではありません。 リモコンの設定温度を上げてください。
床暖房がなかなかあたたまらない	床面があたたまるまでの時間は、床仕上げ材の種類や外気温度、住宅構造などによって変化し、暖房感が得られるようになるには予熱時間が必要です。異常ではありません。 ※床面が適度にあたたまるには、外気温度や住宅構造などにより多少時間差はありますが、約1時間程度かかります。(畳・タイル・天然石などの場合は、約1~2時間)また、床温が30℃以上にならない床仕上げ材もあります。 【室温センサー付(142-N141,N143,N145型)の場合】 リモコンに直射日光が当たったり、リモコンの近くにストーブなどの暖房放熱器がある場合は、リモコン周辺のみ温度が上がります。それにより、部屋全体があたたまっていると室温センサーが判断し、床暖房の温度をおさえめにします。	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定温度を上げてください。(P16) ● 早めに運転スイッチ「入」にしておいてください。 ● タイマーを設定して早めに床暖房をしておいてください。 カーテンやブラインドで日差しをさえぎったり、リモコンから暖房放熱器を離してください。

(つづく)

必要なとき

故障・異常かな?と思ったら(つづき)

床暖房(つづき)		
こんなときは	こんなことが考えられます	処置
床暖房リモコンを買い替えてからあたたまりにくくなった	従来の床暖房リモコンから暖房能力を抑えた制御になっているため、買い替え前後で暖房感が変わります。 初期設定(工場出荷時)では、従来の床暖房リモコンから暖房能力を抑えた設定(セーブモード「入」)になっているため、あたたまりにくい場合があります。	あたためモード(制御方法)を切り替えてください。(P30)
床暖房の温度を5以上に調節できない	セーブモード「入」の場合は、床暖房の温度を5以上に調節できません。	異常ではありません。
床温が変動する	温度調節をしない場合でも、床温が変動することがあります。これは床温を制御したり、他の暖房放熱器との同時使用によるものです。	異常ではありません。
床暖房中に音がする	床暖房の熱によって、温水床暖房マットや床仕上げ材などが収縮・膨張するため発生する音、または温水の流れる音です。	異常ではありません。
床暖房を使用していないのに床があたたまることがある	暖房回路内の空気抜きや凍結予防のためにポンプが作動したときに、他の暖房放熱器を使用していると、一時的に床があたたまる場合があります。	異常ではありません。
床暖房の床面の足ざわりが場所によって異なる	床仕上げ材の固定用根太部分や温水配管接続部、温水配管部などのため、床面の足ざわりが部分的に周辺部分と異なる場合があります。	異常ではありません。

こんなときは	こんなことが考えられます	処置
床暖房の床面に凹凸や段差がある	温水床暖房マットを2枚以上併設しているときや、床仕上げ材と周辺の継ぎ合わせ部などには多少の凹凸があるため、光の当たり具合により目立つことがあります。	異常ではありません。
床暖房の床面の継ぎ目にすき間がある	フローリングや畳などは天然材を使用しています。耐熱処理や含水率調整をした床暖房用のものを使用していますが、床暖房の熱やエアコンなどの暖房装置の連続使用による過乾燥で素材が収縮し、わずかですが継ぎ目にすき間が生じてしまうことがあります。	異常ではありません。
床暖房の床面が変色した	床仕上げ材に直射日光が長時間当たると、日焼けによる変色やひび割れが生じる場合があります。	カーテンやブラインドで日差しをさえぎってください。
	水などをこぼしてそのままにしておくと、変色の原因になります。	すみやかに乾いた雑巾でふき取ってください。

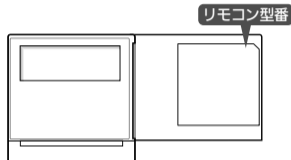
アフターサービスについて

●サービスを依頼されるとき

P35～39の「故障・異常かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

【連絡していただきたい内容】

- ・型番(リモコンのふたの中に記載の型番をご覧ください)
- ・異常の状況(できるだけくわしく)
- ・ご住所、ご氏名、電話番号
- ・訪問ご希望日



●保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。

保証書に記載されている保証期間・保証内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

●補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後10年です。

但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

●熱源機との組み合わせについて

大阪ガス指定品以外の熱源機を接続された場合は、十分なシステム性能が確保されないおそれがあります。また当社がおこなう保証の対象外となりますのでご注意ください。